

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成29年9月14日 (2017.9.14)

【公開番号】特開2016-40422(P2016-40422A)

【公開日】平成28年3月24日 (2016.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2016-018

【出願番号】特願2014-164444(P2014-164444)

【国際特許分類】

D 0 6 P 7/00 (2006.01)

D 0 6 P 5/20 (2006.01)

D 0 6 P 5/00 (2006.01)

G 0 2 C 7/00 (2006.01)

【F I】

D 0 6 P 7/00

D 0 6 P 5/20 D

D 0 6 P 5/00 D

G 0 2 C 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月7日 (2017.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

染色面に染料が付着した樹脂体を加熱することで、前記樹脂体に染料を定着させて前記樹脂体を染色する染色装置であって、

電磁波を発生させる電磁波発生手段と、

前記染色装置の動作を制御する制御部と、

を備え、

前記制御部は、

前記樹脂体に電磁波を照射させる複数回の昇温ステップと、

前記複数回の昇温ステップの各々の間に実行されるステップであり、前記昇温ステップによって加熱された前記樹脂体の温度を低下させる降温ステップと、

を含む定着工程を、前記染色装置に実行させることが可能であることを特徴とする染色装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の染色装置であって、

前記昇温ステップおよび前記降温ステップによって染料を定着させる前記樹脂体には、ポリカーボネートによって形成された樹脂体が含まれることを特徴とする染色装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の染色装置であって、

前記制御部は、

前記降温ステップにおいて前記樹脂体への電磁波の照射を停止させることを特徴とする染色装置。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれかに記載の染色装置であって、

気流を発生させる気流発生手段をさらに備え、
前記制御部は、

前記降温ステップにおいて、前記気流発生手段が発生させる気流を前記樹脂体に当てる
ことで、前記樹脂体の温度を低下させることを特徴とする染色装置。

【請求項 5】

染色面に染料が付着した樹脂体を加熱することで、前記樹脂体に前記染料を定着させる
染色樹脂体の製造方法であって、

前記樹脂体に前記染料を定着させる定着工程の少なくとも一部は、

前記樹脂体に電磁波を照射させる複数回の昇温ステップと、

前記複数回の昇温ステップの各々の間に実行されるステップであり、前記昇温ステップ
によって加熱された前記樹脂体の温度を低下させる降温ステップと、
を含むことを特徴とする染色樹脂体の製造方法。